

大分大学の新学部(理工学部)のご案内

平成29年4月に設置された「理工学部」では、質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することを基本理念としています。このため、自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えると共に、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することを教育の目標に掲げています。

「理工学部」は、創生工学科と共創理工学科の二つの学科によって構成され、創生工学科では、機械コース・電気電子コース・福祉メカトロニクスコース・建築学コースの四つのコースを設けて「工学の専門性を究めつつ理学の素養を併せ持つ人材」を養成します。また、共創理工学科では、数理科学コース・知能情報システムコース・自然科学コース・応用化学コースの四つのコースを設けて「理学の専門性を究めつつ工学の素養を併せ持つ人材」を養成します。



大分大学経済学部の新学科(社会イノベーション学科)のご案内

経済学部は、経済学科・経営システム学科・地域システム学科・社会イノベーション学科の四つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を行っています。とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業科目は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、学問の基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めます。学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

【新学科の特色】

平成29年4月に設置された「社会イノベーション学科」では、新しい商品・サービスの創造による企業経営上の革新や、行政やNPO等による社会事業創造による、地域社会の課題を解決することを学びます。特に、イノベーション(新たな価値創造)が求められる社会経済状況を理解し、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じて、課題探究能力およびチームワークを構築・維持できるようなコミュニケーション能力を備えた人材や組織の中でイノベーションの強化に携わる人材を養成します。



大分大学「同窓生との合同交流会」in福岡2017

- 1 日時 平成29年9月30日(土) 16:30～19:00
- 2 場所 ホテル福岡ガーデンパレス(宝満会場)
福岡市中央区天神4-8-15
(地下鉄天神駅より徒歩5分)
TEL:092-713-1112
- 3 次第
第1部<交流会(宝満会場)>
・学長挨拶・同窓会連合会会長挨拶
・各学部・研究科等現状報告
第2部<懇親会(ガーデンホール会場)>
・同窓生や各同窓会との相互交流

大分大学ホームカミングデー2017

- 1 日時 平成29年11月5日(日)
- 2 場所 大分大学学生交流会館 *B-Fire* 内特設会場
- 3 次第
第1部<交流会>
・学長挨拶
・同窓会連合会会長挨拶
・同窓生による講演会
・各学部・研究科等現状報告
第2部<各同窓会・同窓生との相互交流及び大学関係者との懇親会>

大分大学同窓会連合会役員

役員名	氏名	選出母体等
会長	秦 政 博	豊友会会長
副会長	松 尾 孝 美	翔工会会長
理 事	秦 政 博	豊友会会長
	石 川 公 一	四極会会長
	高 倉 健	玉樹会会長
	古 田 佳代子	桜樹会会長
	松 尾 孝 美	翔工会会長
	安 東 千 秋	九峰会会長
	門 田 淳 一	大分大学社会連携担当理事
監 事	高 井 道 晴	四極会大分支部会長
	戸 高 孝	翔工会副会長

顧問及び名誉会長

	氏名	選出母体等
顧 問	北 野 正 剛	大分大学長
名誉会長	園 田 和 孝	元豊友会会長

連合会平成29年度事業計画案内

- 6月30日 ― 機関紙の発行
9月30日 ― 地区別同窓生との合同交流会
11月5日 ― ホームカミングデー
11月5日 ― 同窓生による講演会等
11月下旬 ― 同窓生による企業紹介

大分大学同窓会連合会 機関紙 No.3

〔事務局〕

大分大学産学官連携推進機構 研究・社会連携部研究・社会連携課内
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 TEL:097-554-7513/FAX:097-554-7740
E-mail: dosoren@oita-u.ac.jp HP: http://www.alumni.oita-u.ac.jp/



【巻頭言】 知の成果を市民へ



大分大学同窓会連合会が発足して三年目に入りました。この間、年次開催してきました「ホームカミングデー」や『大分大学「同窓生との合同交流会」イン福岡』を通して、学部を横断した同窓生同士の連携と交流が漸を追って深まってきている思いがいたします。社会の各方面で活躍している同窓生が、このようにして一堂に会し親睦を深め合うことは、卒業以来の来し方の経験や知見を持ち寄り、お互いが新しい友情をはぐくむことのできる数少ない機会となっており、いわば同窓生の人的、学際的な交流の場としてその役割を果たし始めていると思います。

大学の役割は何か、端的に言ってそれは知の創造と継承にあるということです。そして私たち市民という生活者にとって知は、何よりも私たちの思考と行動の基礎となりうるもの、つまり市民の基礎的な体力として知は蓄えられるべきものだと思います。かつて大学は、市民社会から距離を置いて象牙の塔とか言われていましたが、大学の構造的な改革による体質改善によって社会貢献度を増し、それを以って大学の責務一つが語られるようになってきました。各種の産業分野との共同研究いわゆる産学協同は、大学の果たしてきた大切な役目であることは言うまでもありません。本学の産学官連携推進機構は産学官のいっそうの連携を深めるために、異業種間交流会や技術交流会などを進めてきていますが、さらに歩を進めて、市民により近づいた大学の立ち位置が要請されてい

るのではないかと思います。今や大学と市民との連携は、時代の要請といっても過言ではありません。

過日、北野学長が中心になり、ピラゴフ名称ロシア国立研究医科大学と内視鏡分野での大学間交流協定が結ばれましたが、高度医療技術を通じて大分大学が日ロ経済交流推進事業の一環を果たしていくことになり、同窓生はもとより多くの市民が大分大学の持てる力とこれからの役割に改めて瞠目し、高い期待感を抱いたに違いありません。

理工学部での福祉機器への応用を目指した「次世代ロボット技術」の開発は、医療・介護・福祉をつなぐ学際的な研究として、超高齢化の時代を迎えている今日その成果を市民は待ち望んでいます。福祉健康科学部で作成した「地震発生時における避難手帳」は地域包括ケアシステムの具体的な展開の例示であり、教育学部と教育現場の密接な交流は、教員養成を含めて教員の資質能力を高め学校力を向上させる上で、保護者や地域住民の要望に寄り添う連携です。経済学部の社会イノベーション学科はNPOなど市民活動などとながります。

教育、福祉、企業経営、環境、医療などなど専門知が集積された大学の力が、地域社会にしっかり還元されていく、そうした大学が身近にあるという安心感が市民の大学に寄せる信頼感の醸成につながると思います。母校大分大学が知の発信源となりながら、地域社会のニーズに応えて市民との連携がこれまで以上に進められるよう期待してやみません。本同窓会連合会もまたその一助を務めたいと思います。

同窓会連合会会長 秦 政博

